

全農
Z-GIS
全農 営農管理システム

機能を搭載して、
さらにパワーアップ!



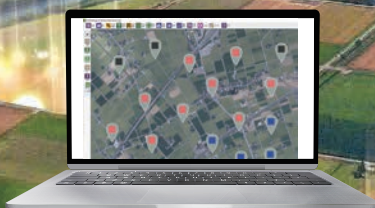
スマートフォン用アプリ

レイミーの
AI病害虫雑草診断

NICHINO



スマホで簡単記録



農業現場の可視化



情報共有の強化

データの集約で組織力を高める!

JAグループ

全農

「レイミーのAI病害虫雑草診断」は日本農業株式会社の子会社である日本農業株式会社の運営するスマートフォン用アプリケーションです。

- 全農が独自に開発し2018年にリリースしたエクセル管理が可能な電子地図の営農管理システム
- エクセル管理が特徴であり、工夫次第で色々と活用ができる

- 日本農業が開発した2020年のリリースの完全無料のスマホアプリ
- AI診断・AI予察・図鑑などの病害虫雑草の管理に役立つ様々な機能
- 2025年に新しく「記録機能」を搭載し活用場面が拡大



レイミーでいろいろ記録

- 病害虫・雑草の被害
- 問題病害虫の拡がり
- 圃場の異変
- 霜や台風の被害調査
- 農作業の進捗 etc...

スマホで簡単記録



Z-GISで記録を集約し可視化



レイミーからの情報は簡単操作で地図上に反映できるので、複雑なスマホやPCの操作は不要です。簡単に時間をかけずに使えます。

農業現場の可視化

情報共有の強化

農業に関するあらゆる情報を電子データ化してZ-GISのマップで組織全体で確認できるようになります！

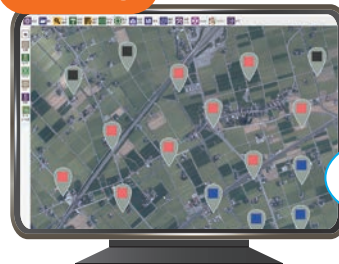
農作業での活用シーン

シーン① 農作業記録



簡単に農作業を画像と一緒に記録できるので分かりやすい

シーン② 病害虫の発生記録



地域を絞って侵入病害虫雑草の発生の拡がりの調査で使用

前よりカメムシ増えてきたな...



シーン③ 農業現場の異変の情報共有



少ない人数で状況把握をするためにデータを活用

すぐ情報共有できて便利



シーン④ 災害調査



地震、台風、凍霜害、暴風、竜巻などの被害調査に活用

情報の総合管理

簡単操作でOK! レイミーでは1つの操作方法を覚えるだけで様々な項目を記録できます。Z-GISでは属性の違う情報であっても集約可能です。

※画面は開発中のものにつき、実際の仕様とは異なる場合があります。 出典:国土地理院ウェブサイト 地理院タイルを加工して制作しています。

使用上の 注意事項

- Z-GISからのリクエストに対し承認したレイミーユーザーのデータがZ-GIS上で集約・管理されます。(不特定多数のレイミーユーザーのデータの閲覧はできません)
- 本連携はZ-GISの有料オプションになります。レイミーは無料でご利用いただけます。 ■ レイミーの診断データもZ-GISでダウンロードして閲覧できます。
- レイミーで記録機能をご利用の際は必ず位置情報をオンにしてください。(レイミーとカメラの両方) ■ Z-GISおよびレイミーのどちらからでも連携の解除操作が可能です。

Z-GIS レイミー連携オプションのお問い合わせ

JA全農 耕種総合対策部スマート農業推進課
TEL:03-6271-8274
mail:zz_zk_smart@zennoh.or.jp

レイミーの AI病害虫雑草診断

webでも詳しく紹介しています
ダウンロードはこちら▶

